こんな素敵なリフォームさせていただきました！

第四十六回　江戸川区・M様邸

セカンドライフを快適に過ごす空間造り

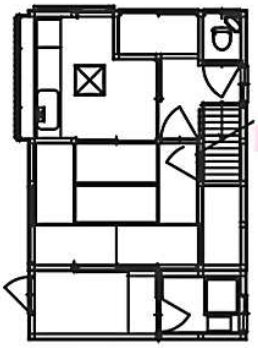
■築40年 木造一戸建て　■リフォーム内容…1階スケルトン／2階:内装／外壁　■工事面積:55平米(2階建)

M様、ありがとうございます！

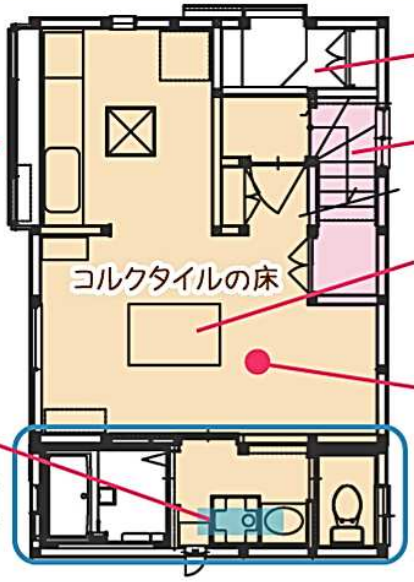
今回リフォームさせていただいたのは、M様がご両親様から受け継がれたお住まい。M様にとっては学生時代の思い出が詰まった建物です。まだお仕事をバリバリとされているM様ですが、いずれリタイアした際にはセカンドライフを安心して快適に、のんびりと過ごせるようにしておきたいなぁ、とお考えで、今回のリフォームを決められました。

リフォーム前の様子

スケルトンリフォームでバリアフリーになった1階！



リフォーム前



段差の大きな玄関は、間に1つ段をつけて、上がりやすく。

階段をゆるやかに架け替え、手摺設置。

床に直接座っても足に負担がかからない、掘りごたつ

部屋と部屋の境の段差は全て解消！足触りがソフトで快適なコルクの床です♪

コルクタイル

天窓を新設

まとまって使いやすい水回り！もちろん段差はありません。

断熱

冬暖かく、夏は涼しい家に。断熱することで空調の効きも飛躍的に良くなり、省エネです！

耐震

今後のことを考え、耐震補強もしっかりする為に、1階はスケルトン(構造を残して解体すること)にする、大掛かりなリフォームとなりました。

キッチンとリビングが繋がりのある明るい空間に

以前は、和室と台所という2つの空間でしたが、これを一体感のある空間へと変身！和室は、和のテイストを残した洋室に変更し、床はキッチンとリビングの両方をコルクタイルにしました。同じ素材を使うことで空間に一体感が生まれます。

洋室ではありますが、和の生活スタイルをそのままに、掘りごたつや障子を設けて明る穏やかな空間になりました。コルクタイルは、やわらかく、暖かなやさしい素材なので直接床に座る和のスタイルにもぴったりです。

脚に優しいほりごたつ

今後、年齢を重ねられるにつれて、床座は脚に負担がかかってきます。ほりごたつであれば、床に座りながらも椅子のような感覚で、負担がかかりません。

耐震の為、お勝手口を塞ぎ耐力壁に。でも通風は遮らないように窓を

リフォーム前、キッチンには引き戸のお勝手口がありましたが、耐震強度を上げるために、ここは壁にしたい箇所でした。M様ご自身も、全く使用していないとのことだったので、塞ぐことに。しかしそうなると、風通しは悪くなってしまいます。そこで、お勝手口ほどの大きさは無いものの、通風を助けてくれる窓を設置いたしました。

使いやすくまとまった水周り

こちらの部分は、建築されたしばらく後に増築された部分であり、お風呂と作業場がありました。スペース自体は広いのですが、今は使われておらず、有効活用できていない、もったいないスペースでした。

リフォーム前

そこで、お風呂、洗面室、トイレが繋がったコンパクトで使いやすい水回りスペースに変身です！隙間にピッタリの使い勝手の良い収納棚も造りつけられています。

天窓の明るさは通常の窓の三倍！ただ、天窓は太陽熱の影響を大きく受けますので、断熱性の高い窓にする必要があります。

リフォーム前

水周りスペース天井に天窓を新設！

もともと増築部分だったこちらのスペースには、半透明の波板の屋根がありました。明るくはありましたが、簡素なものであったため、今回、しっかりした屋根にしました。半透明ではなくなってしまいますが、明るさは保てるように、改めて天窓を設置！

天窓の明るさが隣のリビングまで届きます

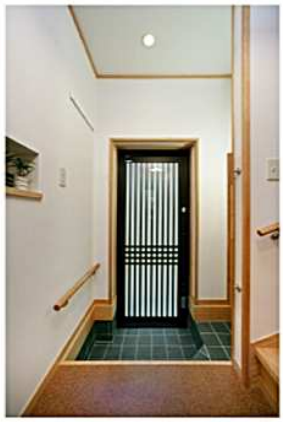
隣のリビングでも明るさを共有できるように仕切りの建具は半透明のものを採用しましたので、閉めても明るさが損なわれません。

リフォーム前の直階段

とてもゆるやかな階段

M様の大きなご希望の一つが、階段を安全にしたいとの事でした。以前までの直階段から、折り返し階段に架け替えをすることで、随分と傾斜がゆるやかな階段が実現しました。

直階段に比べるとスペースは取りますが、長く生活することを考え、私たちが計画するリフォームでは、階段は広めに取ることを推奨しています。



安全な玄関

玄関は、上ったり下りたりという大きな動作を行う場所です。手摺、そして框の大きな段差を補佐するための踏み段を設置し、安全性をUP！インテリアもとっても明るくなりました。